



(題字 大井信一 学長)

第320号

(平成2年9月号)



▲ 第1回先端技術研修の開講式で挨拶する宮下地域共同研究センター長と
本学地域共同研究センター

目 次

学 内 諸 報

- ◆ 平成2年度富山大学先端技術研修の実施…… 3
- ◆ 平成4年度入学試験から分離・分割方式で
実施……… 5
- ◆ 消防訓練の実施（教養部）……… 7
- ◆ 第3回（平成2年度）北陸地区国立学校等
監督者研修の実施……… 8
- ◆ 経済学部長の改選……… 10

人 事 異 動……… 10

学 事

- ◆ 平成2年度民間等との共同研究受入れ一覧… 11

学内トピックス……… 12

寄稿 **海外レポート**

- ◆ 「在外研究員をふりかえって」……… 15
——教育学部助教授 西川友之——

関 係 法 令……… 18

諸 会 議……… 18

学 内 規 則

- ◆ 富山大学地域共同研究センター先端技術研
修規則の制定……… 19

叙 位……… 19

レクリエーション

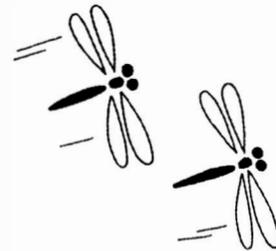
- ◆ 平成2年度文部省共済組合富山地区共同事
業体育大会……… 20
- ◆ 平成2年度全国公務員レクリエーション共
同行事富山地区ソフトボール大会……… 23
- ◆ 学内庭球大会……… 24
- ◆ 学内釣大会……… 24

海 外 渡 航 者……… 25

職 員 消 息……… 25

—シリーズ— **郵便豆知識 ④**……… 26

主 要 行 事……… 30



(表紙写真上)

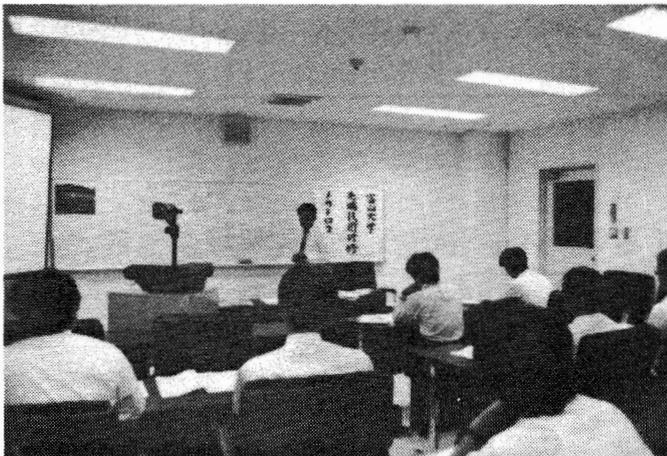
五福キャンパスからの北アルプス立山連峰の眺望

企業のハイテク化をサポートする技術者研修

平成2年度富山大学先端技術研修を開講

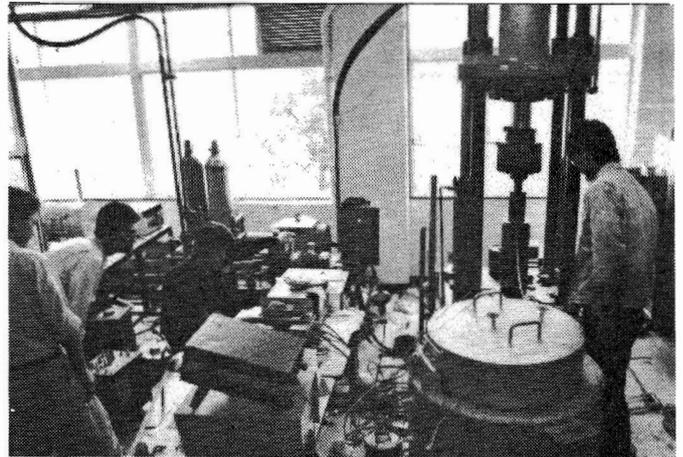
— 本学地域共同研究センター主催で3コース —

本学地域共同研究センターでは、近年の目覚ましい科学技術の進歩により技術革新が急速に進んでいることにかんがみ、開かれた大学の事業の一環として、民間企業の基礎技術のレベルアップ、自主技術開発及び最先端技術に対応できる高度技術者を養成するため、本年度から「先端技術研修」を実施することになりました。



▲ 9月20日から始まった「メカトロコース」で講義する担当主任の工学部時澤教授

この先端技術研修は、「高度技術研修」として、他国立大学に先駆けて実施されるものです。各コースの研修期間は、10日間です。初日、2日目は、勤務時間外の座学（講義）が各2時間組み込まれていますが、3日目からは実際に実験室に入り、各コースに沿った測定・実験・作製・演習・性能評価等を8日間みっちり行い、成果を挙げるのが特色となっています。



▲ 表皮層の流出挙動実験に真剣なメカトロコース受講者



▲ 熱間剪断実験の実習風景

本学地域共同研究センター及び工学部を会場に実施される平成2年度先端技術研修の開設コースの概要等は、次のとおりです。

<研修コースの概要>

コース名	コースの概要	募集人員	開設期間
メカトロコース	押出加工中のメタルフローの挙動を把握するためのモデル用に工夫したピレットを作製する。押出型の設計項目についての基礎実験を行い、押出圧力、メタルフローの観察、解析等から押出性を評価する。基礎実験の結果から実用的な押出加工における型設計の評価	10名	平成2. 9. 20(木) ~10. 6(土) (10日間) (・52時間)

	とその応用について総合評価する。		
電子デバイス コース	液晶を素材から合成して作成し、同時に表示機能を作動させるためのキットを組み立てる。合成した液晶の特性、性能を測定し、評価する。液晶とキットを組み合わせ、液晶表示機能の評価する。最後にパネルに組み込んで伝達媒体としての総合評価を行う。	10名	平成2. 12. 3(月) ~12. 14(金) (10日間) (・52時間)
情報処理 コース	最近のワークステーションネットワーク環境によるプログラミングの基礎と演習を行い、その応用として具体的問題についてのコンピュータシミュレーションと、その結果をグラフィックス表示する演習を実施する。	10名	平成3. 1. 21(月) ~2. 1(金) (10日間) (・52時間)

<研修日程・内容>

○メカトロコース

9/20 (木)	17:30 ~19:30 (2時間)	講義	押出型設計の基礎
9/21 (金)	"	講義	押出型設計の応用
9/25 (火)	9:30 ~16:30 (6時間)	作製	実験用ビレットの作製
9/26 (水)	"	作製	同上
9/27 (木)	"	実験	押出加工 I
9/28 (金)	"	実験	押出加工 II
9/29 (土)	"	実験	押出加工 III
10/ 4 (木)	"	測定	メタルフロー観察 メタルフロー解析 材料試験等
10/ 5 (金)	"	測定	同上
10/ 6 (土)	"	総合評価	総合評価

○電子デバイスコース

12/ 3 (月)	17:30 ~19:30 (2時間)	講義	液晶デバイスの基礎
12/ 4 (火)	"	講義	液晶デバイスの応用
12/ 5 (水)	9:30 ~16:30 (6時間)	作製	液晶パネルの作製 駆動回路作製
12/6 (木)	"	作製	同上
12/ 7 (金)	"	測定	膜厚測定ほか 透過率測定ほか
12/10 (月)	"	測定	同上
12/11 (火)	"	測定	液晶性能測定 表示機能測定
12/12 (水)	"	測定	同上
12/13 (木)	"	性能評価	液晶パネル性能 測定及び評価
12/14 (金)	"	総合評価	総合評価

○情報処理コース

1/21 (月)	17:30 ~19:30 (2時間)	講義	コンピュータアーキテクチャの進化
1/22 (火)	"	講義	ネットワークアーキテクチャ
1/23 (水)	9:30 ~16:30 (6時間)	演習	X 端末の操作及び演習
1/24 (木)	"	演習	プログラミング基礎及び演習
1/25 (金)	"	演習	同上
1/28 (月)	"	演習	応用 I (コンピュータシミュレーション)
1/29 (火)	"	演習	応用 II (コンピュータシミュレーション)
1/30 (水)	"	演習	応用 I (コンピュータグラフィックス)
1/31 (木)	"	演習	応用 II (コンピュータグラフィックス)
2/ 1 (金)	"	総合評価	総合評価

平成4年度入学試験から 分離・分割方式で実施

—— 9月21日評議会決定・同日公表 ——

本学の平成4年度入学試験の実施方式・日程が、去る9月21日(金)開催の平成2年度第6回評議会において審議・決定され、分離・分割方式で実施することになりました。

昭和62年度から国立大学の受験機会の複数化を図るため連続方式が導入され、本学は、同方式のB日程で実施してきました。また、平成元年度からは、この連続方式に加えて、受験生の選択機会の拡大と多様な選抜方法の導入を促進する観点から分離・分割方式が導入されました。

本学では、上記のような大学入試に対する社会的要請と、入学辞退者の増加やそれに伴う入学者確保の難しさなどから、入試方法の工夫・改善について各学部で鋭意検討を重ねた結果、平成4年度入学試験から分離・分割方式で実施することに決定したものであります。各学部の実施方式・日程は、次のとおりで、同日

公表されました。

なお、次の表中未定の定員割り振り等については、来る10月末日までに決定される予定です。



▲ 受験生で溢れた平成2年度入学試験

平成4年度富山大学入学試験実施方式・日程 (平成2.9.21公表内容)

学部	学 科 (課 程)	入学 定員	実施方式	募 集 人 員			
				連 続 方 式		分 離 ・ 分 割 方 式	
				A 日 程	B 日 程	前 期	後 期
人 文 学 部	人 文 学 科	95	分 離 ・ 分 割	—	—	検 討 中	検 討 中
	語 学 文 学 科	95				検 討 中	検 討 中
教 育 学 部	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語)	50	連 続 A 日 程	50	—	—	—
	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育)						
	小学校教員養成課程	100	分 離 ・ 分 割	—	—	約7.0 (比率)	約3.0 (比率)
	養護学校教員養成課程	20	分 離 ・ 分 割	—	—	約7.0 (比率)	約3.0 (比率)
	幼稚園教員養成課程	30	分 離 ・ 分 割	—	—	約7.0 (比率)	約3.0 (比率)
	情報教育課程	40	分 離 ・ 分 割	—	—	約7.0 (比率)	約3.0 (比率)

経済学部	昼間主 コース	経済学科	144	分離・分割	—	—	検討中	検討中
		経営学科	124				検討中	検討中
		経営法学科	102				検討中	検討中
	夜間主 コース	経済学科	20	検討中				
		経営学科	20					
		経営法学科	20					
理学部		数学科	43	分離・分割	—	—	検討中	検討中
		物理学科	47				検討中	検討中
		化学科	43				検討中	検討中
		生物学科	35				検討中	検討中
		地球科学科	32				検討中	検討中
工学部		電子情報工学科	132	分離・分割	—	—	92 (7.0)	40 (3.0)
		機械システム工学科	101				71 (7.0)	30 (3.0)
		物質工学科	83				58 (7.0)	25 (3.0)
		化学生物工学科	86				60 (7.0)	26 (3.0)



— 猛暑について —

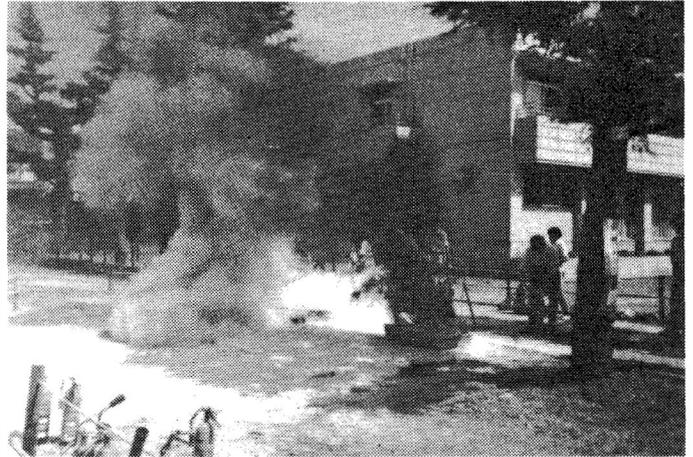
教養部で消防訓練

去る8月29日(水)教養部において、富山大学防火管理規則第13条第2号に定める基本訓練が、教養部人文科学教棟及び同教棟前周辺を会場に実施されました。

この訓練は、教養部職員に対し、初期消火の技術向上、消防設備等に関する知識の普及並びに通報・連絡方法及び避難誘導方法を確立することにより、万一の火災発生の際における物的、人的被害を最小限にとどめることを目的に行われました。

今回の基本訓練では、人文科学教棟2階学生印刷室から出火したとの想定のもと、消防隊本部・関係機関への通報・連絡等、在庁(校)者の屋外への避難誘導、担架による負傷者の救出、消火器による消火及び屋内消火栓の放水による消火など極めて実践的な消防訓練となりました。

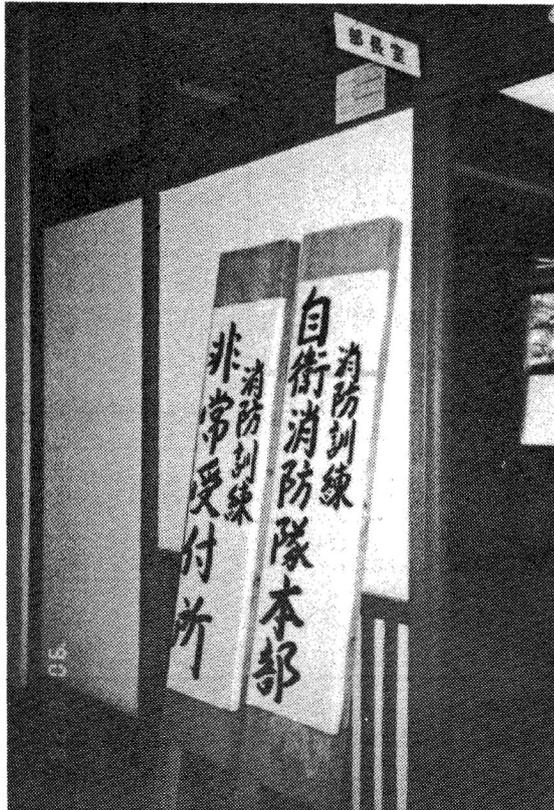
また、理学部に設置されている緩降機(スローダン)



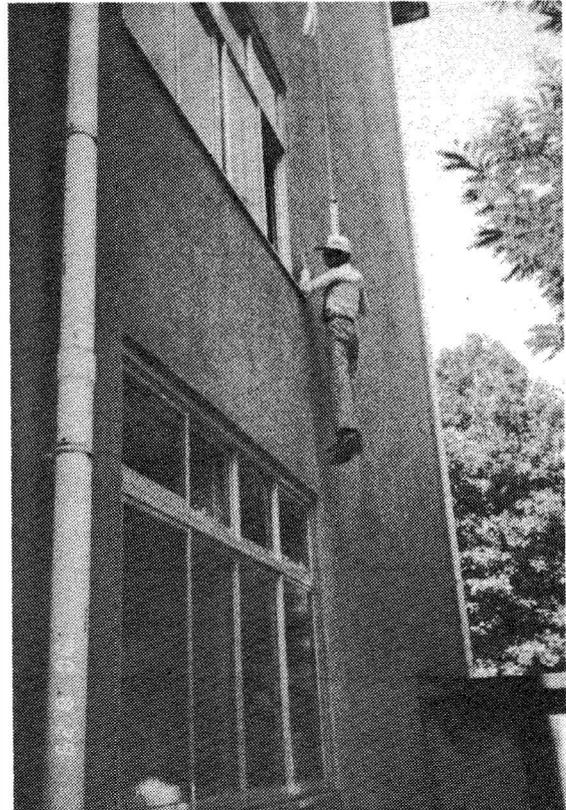
▲ 消火器を使って真剣に消火訓練を行う教養部職員

及び避難梯子による避難訓練も併せて行われました。

これらの訓練を通じて、火災予防に対する認識が強められ、大きな成果を挙げることができました。



▲ 教養部長室に自衛消防隊本部が設置された



▲ 緩降機による避難訓練を行う大谷教養部長

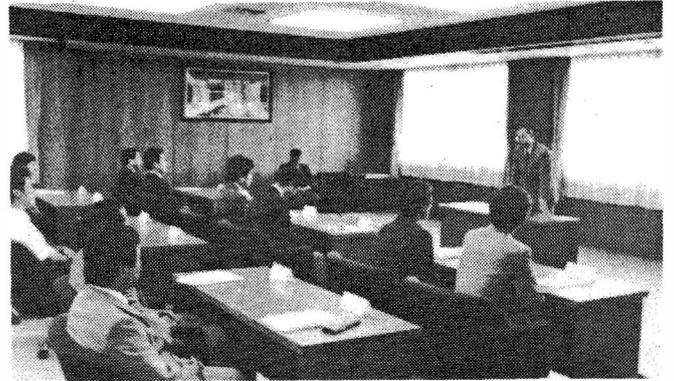
第3回(平成2年度)北陸地区国立学校等監督者研修

——富山大学が当番機関となり実施——

北陸地区文部省機関が合同で実施している第3回(平成2年度)北陸地区国立学校等監督者研修が、去る9月10日(月)から9月13日(木)までの4日間富山大学事務局大会議室及び国立立山少年自然の家大研修室において実施されました。

この研修は、北陸地区文部省機関に勤務する新任の係長に対し、監督者としての心構え及び基礎的な知識を付与し、もって職員の資質の向上と公務の運営の能率化を図ることを目的としたもので、北陸地区国立学校8校から計14名が受講し、活発な討議が行われ熱心な研修会となりました。

なお、研修日程及び受講者は次のとおりです。



▲ 開講式で、監督者研修の意義を強調する勝山事務局長

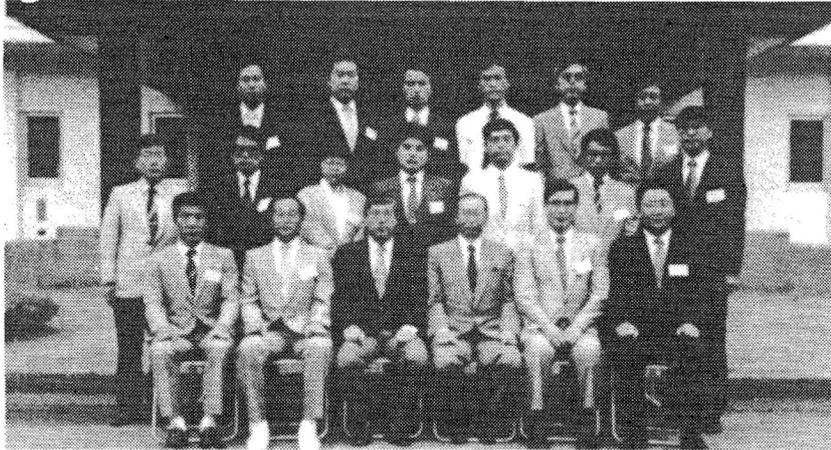
研修日程

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	22:00
第1日 9月10日(月)	受付	開講式 記念撮影	移動	(第1会議) この会議を進めるために 金沢大学 酒井 誠一	昼食	(第2会議) 組織と監督者 金沢大学 中島 宏	(第3会議) 管理の4段階 富山医科薬科大学 飯田 憲郷		入浴	懇談会				
第2日 9月11日(火)	(第4会議) 報告と 会議 富山大学 能登 功	(第5会議) 改善の重要性 富山大学 能登 功		昼食	(第6会議) 監督者と研修 富山大学 長澤 義男	特別講義	夕入浴	自主研修						
第3日 9月12日(水)	(第7会議) 職場研修 富山大学 高松 正雄	(第8会議) リーダーシップと部下 の理解 富山大学 嶋田 政信	昼食	(第9会議) 参加とコミュニ ケーション 富山大学 泉 三郎	(第10会議) 問題の解決と「まとめ」 富山大学 長澤 義男	夕入浴	自主研修							
第4日 9月13日(木)	実習 富山大学 泉 三郎	実習 富山大学 長澤 義男	昼食	移動	特別講義及び 見学	閉 講 式 事務局								

受講者

機 関 名	所 属・職 名	氏 名	機 関 名	所 属・職 名	氏 名
富 山 大 学	庶務課文書係長	松井 博文	高岡短期大学	学生課学生係長	佐野 勤
富山医科薬科大学	研究協力課企画係長	安念 英憲	"	事業課企画係長	林 武
"	学生課厚生係長	山崎 政昭	富山工業高等専門学校	会計課用度係長	高邑 英市

金 沢 大 学	設備課機械第二係長	岡本 賢一	福 井 大 学	入学主幹付専門職員	高岡 道夫
”	文学部・法学部・経済学部学生第三係長	問谷 元子	”	教育学部一般教育係長	近藤 久
”	医事課医療福祉係長	宮崎 幸一	福井医科大学	会計課情報処理係長	熊野 匠
石川工業高等専門学校	会計課施設係長	白勢 秀雄	”	医事課中央診療事務係長	加藤 正人



▲ 富山大学事務局玄関前で記念撮影

第32回（平成2年度） 教育・文化週間

趣 旨

教育・文化週間（昭和34年9月4日閣議了解）の趣旨にのっとり、第32回目を迎える平成2年度においては、「文化の日」を中心として、教育・文化に関する諸行事を全国的に実施することによって、教育・文化に関する国民の理解と関心を深め、もってその充実振興を図るとともに、教育改革等への一層の協力を得ることを目的とする。

期 間

平成2年11月1日(木)～11月7日(水)（1週間）

諸行事等の実施

- 教育・文化功労者等の表彰
- 生涯学習フェスティバル・芸術公演等の開催
- 教育文化施設における文化的行事の実施等
- 教育・文化に関する広報活動の強化



次期経済学部長に吉原教授を再選

——任期は平成2年9月30日から2年間——



▲ 再選され抱負を語る
吉原経済学部長

吉原節夫現経済学部長の任期が、平成2年9月29日で満了することに件い、経済学部教授会は平成2年8月27日(月)次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、吉原節夫現学部長が再選されました。任期は、平成2年9月30日から2年間。

吉原教授は、昭和30年3月富山大学経済学部を卒業し、同32年3月九州大学大学院法学研究科修士課程を修了、昭和32年4月富山大学経済学部助手となり、同36年4月同学部講師、

同39年4月同学部助教授、昭和53年2月同教授に昇任されました。

この間、富山大学評議員、さらに、昭和63年9月から経済学部長を併任され、今日に至っています。

専攻は民法、富山県出身。

なお、吉原教授は、2期目を迎えるに際して、次のように抱負を語っておられます。

- 現在、設置申請中の大学院経済学研究科(修士課程)が予定どおり平成3年度から認められれば、第一線の企業人、公務員等の再教育を昼夜開講で行うなどその特色を十分発揮する大学院とするとともに、学部をさらに充実・発展させたい。
- 富山大学施設整備の長期計画に関して、早期に文部省の了解が得られるよう全学的な協力をし、経済学部の高層建物が着工できるよう努力したい。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
昇 任	2 . 9 . 1	廣瀬 信	講 師 (教育学部)	助教授 (教育学部)
	〃	松山 政夫	〃 (水素同位体機能研究センター)	〃 (水素同位体機能研究センター)
	〃	井口 善之	人事課長	明石工業高等専門学校事務部長
	〃	武田 一夫	大学入試センター管理部庶務課課長補佐	入学主幹
転 任	2 . 9 . 1	大石 雅壽	助 手 (理学部)	助 手 (国立天文台電波天文学研究系)
配 置 換	2 . 9 . 1	村山 年男	入学主幹	人事課長
降 任	2 . 9 . 1	波間 雄司	上越教育大学教務部教務課教務第一係長	教育学部学務係教務主任
職務命令	2 . 9 . 1	浜井 幸作	用務員 (教養部作業員)	教養部作業員長

学 事

平成2年度民間等との共同研究受入れ一覧

平成2年度における民間等との共同研究の受入れは、次のとおり合計17件となり、去る9月21日(金)開催の平成2年度第6回評議会に報告されましたので、富山大学と民間等との共同研究実施細則第3条の規定に基づき公表します。

区分	研究題目	民間機関名	受入期間	大学側研究代表者
A	半導体磁気センサの研究	北陸電気工業(株)	平成2.7.21 ～3.3.31	工学部 教授 龍山 智榮
"	切削・研削における潤滑成分の効果	日華化学(株)	"	工学部 教授 高辻 雄三
"	ドリリングセンターの適応制御に関する研究	吉田工業(株) エルコー(株)	"	工学部 教授 高辻 雄三
"	酸化物高温超伝導体の電流・熱流の磁場効果	北陸電力(株)技術研究所	"	教養部 教授 森 克徳
B	機能性材料に関する研究	アイシン軽金属(株)	平成2.6.1 ～3.3.31	工学部 教授 時澤 貢
"	圧電音響素子の有限要素法解析	(株)富山村田製作所	"	工学部 教授 山淵 龍夫
"	気相合成ダイヤモンドのモルフォロジーに関する研究	(株)不二越	"	工学部 教授 宮下 和雄
"	極低温鍛鋼管の開発	太平洋製鋼(株)富山製造所	"	理学部 教授 佐藤 清雄
"	複合押出しに関する研究	立山アルミニウム工業(株)	"	工学部 教授 時澤 貢
"	FAシステムの対話型シーケンサーのプログラム開発	立山マシン(株)	"	工学部 教授 米田 政明
"	押出欠陥発生防止を目的とした最適押出条件に関する研究	富山軽金属工業(株)	"	工学部 教授 時澤 貢
"	マルチカラー液晶パネル用EL面光源の開発に関する研究	北陸電気工業(株)	"	工学部 教授 宮下 和雄
"	Metalloproteasesの酵素免疫測定法(EIA)の確立	富士薬品工業(株)	"	工学部 教授 島崎長一郎
"	カラーLCDの高精細化に関する研究	星電器製造(株)	"	工学部 教授 女川 博義
"	パソコンによるきょう体内部の温度分布解析	(株)イチカワ	平成2.9.1 ～3.3.31	工学部 教授 中山 剛
C	低Mg押出合金の開発	新日軽(株)北陸製造所	平成2.6.1 ～3.3.31	地域共同研究センター 助教授 池野 進
"	サーメット合金強靱化の研究	(株)不二越	"	工学部 教授 多々 静夫
計				17 件

学内トピックス

宮内庁から昭和天皇の行幸（啓）記録採訪

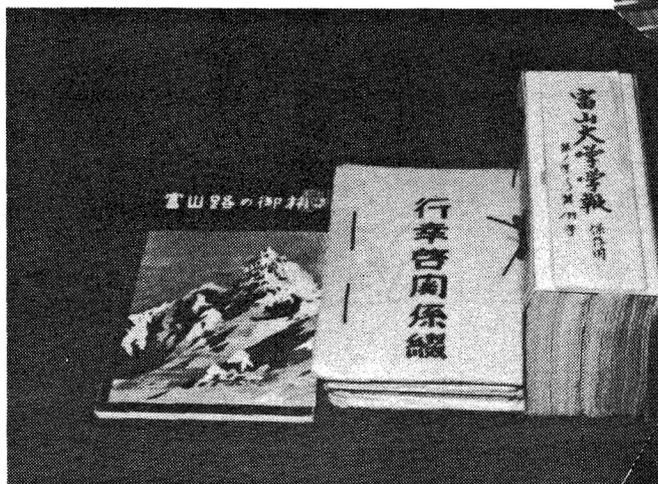
昭和天皇実録の編さんを進めている宮内庁では、各地に職員を派遣して昭和天皇の行幸（啓）関係資料を調査・収集していますが、昭和33年10月21日の両陛下御来学時の御足跡を追って、去る9月1日（土）宮内庁書陵部編修課から3名の研究職員が本学を訪れました。

昭和天皇の本学への行幸（啓）は、第13回国民体育大会（富山大会）への御臨幸の際のことで、当時の梅原真隆学長による奉迎、文理学部林良二教授、薬学部中沖太七郎教授、工学部森棟隆弘教授による各研究

の御説明等が、五福地区へ移転したばかりの大学本部で執り行われました。

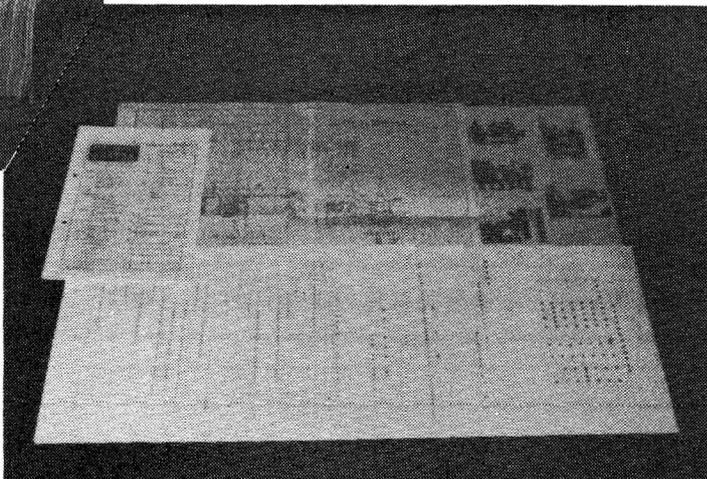
主席研究官北條文彦氏、総理府事務官高橋勝浩氏、同北啓太氏の3名の宮内庁研究職員は、奉迎計画書類や研究説明概要、関連記事を記載した学報（第15号）等の残存資料や写真からその時の模様を再現しようと、限られた時間ではありましたが大変熱心に調査された後、更に次の訪問先へと向かわれました。

▶ 宮内庁北條主席研究官（写書中央）ら3名により昭和33年10月の行幸啓関係資料が調査される（手前は応待する湯澤庶務課長）



▲ 当時の資料が綴られている関係簿冊等

▶ 資料として提供した奉迎計画書とその関連書類



遼寧大学王学琳主任副教授が研究交流で来学

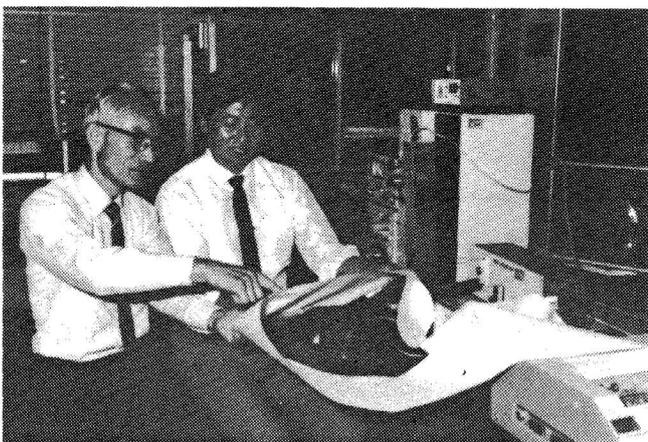


王 学 琳 氏

昭和59年5月、本学
と遼寧大学（中国遼寧
省瀋陽市所在）との友
好学術交流協定が締結
されて以来、教官交流
が相互に進められてき
ていますが、去る9月
3日(月)本年度の研究
交流者として、同大学
分析測定センター主任
副教授王学琳氏が来学

されました。

遼寧大学からの来学は、今回で5人目であり、王主任副教授は、教育学部野村昇教授(担当学科目:化学)の下で「微量物質の分離定量分析研究」をテーマに、



▲ 野村教授とともに分析結果を検討する
王学琳氏

来る11月27日まで本学に滞在されます。

また、本学から遼寧大学へは、現在、人文学部檀上寛 助教授が派遣されています。



▲ 大井学長に着任の挨拶をする王学琳氏と指導の
教育学部野村教授

王主任副教授の専攻分野は、分析化学、分光分析で、現在、高速液体クロマトグラフィーによる分離分析の研究を手懸けられており、工業薬品や添加物に多種・多量に使われているアルキルフェノール類の分離定量分析を通して、環境保全・環境衛生に貢献したいとの信念で研究生活を続けておられます。

来日されて10日程経過したある日、教育学部野村研究室を訪問したところ、同教授の懇切・丁寧な指導の下、寸暇を惜しんで研究に励んでおられました。また、明朗闊達な人柄と真摯な研究態度が印象的で、時には愛用の自転車で遼寧省と友好提携している富山県の関係者との交流にも参加されるなど所期の目的達成に懸命な王学琳さんでした。

— 伝統的交流試合 — ～北陸三大学工学部スポーツ交歓会が開催される～

北陸三県国立大学で工学部のある富山大学、金沢大学、福井大学の工学部教職員スポーツ同好会が、軟式野球、ソフトボール、軟式庭球、硬式庭球、バレーボール、バドミントン、卓球の7種目にわたり日頃鍛えた技と力、そしてチームワークを競い合い、また、同好会間の親睦を深める場であると同時に、工学部職員夏の終わりを飾るイベントとして、今年で早や第18回目を数える本交歓会が、去る8月24日(金)、三大学から合わせて200名以上の教職員が参加し、福井大学

を主会場に開催されました。

このような定期的スポーツ交流は、先に19回目の試合が行われた教養部スポーツ同好会の金沢大学との野球の対抗戦もあり、相手のある行事なだけにどちらの会にも多々苦労はあるかと思いますが、既に伝統的と形容できるこれらの交流試合を、今後も長期にわたって継続してほしいものです。

さて、工学部戦は残暑さえ吹き飛ばすような三つどもえの熱戦の末、総合優勝は福井大学、2位は金沢大

学と富山大学が同じ勝ち点で分け合うというかたちで終わりましたが、競技後の懇親会では、皆そうした結果も忘れ互いの健闘を讃えあい、また、珍プレー・好プレーを肴に杯を傾け、いっそう親睦が深められました。

試合の後、選手が一同に
会してより一層親交が深
められる ▶



平成2年度

秋季全国 火災予防運動

統一標語 「まず消そう 火への鈍感 無関心」

実施期間 平成2年11月9日(金)～11月15日(木)

火の用心 7つのポイント

1. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
2. 子供を、マッチやライターで遊ばせない。
3. 風の強いときは、たき火をしない。
4. 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
5. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6. 風呂の空だきをしない。
7. ストープには、燃えやすいものは近づけない。

寄稿 海外レポート

在外研究員をふりかえって

教育学部 助教授 西川友之

私は、昨年10月1日から今年の7月31日まで、文部省在外研究員として、アメリカ合衆国カリフォルニア州アーバイン市にあるカリフォルニア大学アーバイン校（通称UCIあるいはUC, IRVINE）で10ヵ月間研究する機会を得た。UCIは9番目のカリフォルニア大学として1965年に設立され、南カリフォルニアの広大な丘陵地に、現在もなおいろいろな研究施設が建設されている。私が滞在しているちょうどその期間に、25周年を記念してステューデントブックセンター（学生会館）、立体駐車場が完成し、そして非常に大きなファインアートセンター（劇場）の建設が最後の仕上げにかかっていた。

アーバイン市は、ロサンゼルスから南に約45マイル、高級リゾート・住宅地として有名なニューポートビーチ市に隣接したところにあり、ここ10年間に飛躍的に発展してきた新興都市である。アーバイン一帯には、約350社の日系企業が集中しているとのこと、多くの日本人が居住している。今日、世界中の大都市では、治安上の問題が取り沙汰されている。特に、アメリカの大都市（ニューヨーク、ロサンゼルスに代表されるが）の治安の悪いことは有名である。しかし、南カリフォルニアの中でも、ニューポートビーチ、アーバインを中心とした一帯の治安については、まったく問題がなかった。ロサンゼルスを逃れ、この地に住宅地が開発されていることもうなずける。アーバイン一帯は、かつてオレンジ園、野菜畑であったというが、現在、至るところで住宅の建設がなされており、印象的であった。アメリカでは、生活に必要なもの、特に食料品の安いことは有名であるが、オレンジ・カウンティの物価の高いことには驚いた。私は、UCIのマイク・ピュリッツ博士の紹介で、ニューポートビーチの一角に格安でアパートを借りることができた。アメリカ、特に南カリフォルニアでは、車は必需品であり、ドライバーズ・ライセンスがI.D.を兼ねており、車なしの生活は考えられない。そのため道路網、特に、ロサンゼルス・カウンティ、オレンジ・カウンティのフリーウ

エイは、機能的に整備されている。滞在期間中、多くの交通事故を目撃した。飲酒、ドラッグ、また、車両の整備不良等によるものが大半とのことで、警察当局の夜間の一斉検問に対し、個人のプライバシーの侵害になるかどうかで問題になっていた。この個人の問題については、バレーボールの指導を通し、私にはいろいろなネックになったところである。



▲ ニューポートビーチから見たアーバイン市

私は、「バレーボールのルールの変遷とその背景に関する研究」のため、UCIに滞在した。私を招請してくれたUCIの女子バレーボールチームの監督マイク・ピュリッツ博士は、バレーボールに造詣が深いばかりでなく、全米ジュニアのコーチとしてアメリカで活躍している若手指導者の第一人者である。氏の懇切丁寧で適切な指導助言により、当初考えていた以上の研究成果を挙げることができた。また、UCIの社会学部長でNCAAのバレーボール専門部のコミッショナーを兼任しているボブ・ニューカム教授とは、かねてより関心を持っていたNCAA（NCAAは全米の学生スポーツを統括・指導している）の組織・機構やカレッジ・スポーツの諸問題やルール制定に対する教育理念について貴重な意見交換ができた。

今日、アメリカのバレーボールは、南カリフォルニアの西海岸地方（サンタ・バーバラからサンディエゴ）を中心として、盛んに行われている。アーバインは、地

理的にちょうどこの中間に位置し、ラグナビーチやニューポートビーチに隣接していることもあり、アメリカのバレーボールを調査・研究するには絶好の地である。実際、数多くの指導者やナショナルチームの選手が、ニューポートビーチ、ラグナビーチ、アーバインを中心とした南カリフォルニアから輩出している。また、近年、多くの指導者がこの地に集まってきている。

バレーボールは、世界中で広く親しまれているスポーツの一つであるが、アメリカがバレーボール発祥の国であることは、あまり知られていない。アメリカのスポーツが、シーズン制を取っていることは周知の事実であるが、19世紀後半アメリカでは、秋のフットボールと春の野球との中間をつなぐスポーツが要望されていた。ちょうどこのような時、バスケットボールとバレーボールが考案された。1895年、マサチューセッツ州ホーリーヨーク市のYMCA 体育主事ウィリアム・モーガンは、YMCA の小さな体育館でできるスポーツとして、バレーボールを考案した。モーガンは、バスケットボールが誕生したスプリングフィールド・カレッジを卒業しており、何らかの影響を受けていた。ともあれ、今世紀のはじめYMCA の活動を通して各国に紹介され、東京オリンピック（1964年）以後、急速に世界中に普及した。

バレーボールは、アメリカで誕生したにもかかわらず、バスケットボール、フットボール、野球、ゴルフのメジャースポーツに対して、どちらかといえばマイナースポーツである。最近、バレーボールの誕生の地を記念して、ホーリーヨーク市にバレーボール博物館が設立されたが、バスケットボールの素晴らしい博物館に比べ、施設、内容の貧しさには驚き失望した。しかし、ロサンゼルスオリンピック以後、南カリフォルニア海岸地方を中心として、非常にポピュラーなスポーツとなってきていることも事実である。一般的に、バレーボールとは6人制をさすが、そのプレイ様式は、比較的技術的なことにとらわれないで楽しめるゲームから、高度な技術を必要とする競技的なものまで多様である。1940年代にサンタモニカのビーチで生まれたビーチバレーボール、芝生グラウンドでのグラスバレーボール（2・4・6人制）、主として東部で行われているジャングルボール（多人数で行うバレーボール）など、また、ルールも同じように多様化している。特に、近年はビーチバレーボールのプロ化が進み、西海岸のいずれのビーチでもこれを見ることができ。シーズン中（プロビーチバレーボールトーナメントは、PGA ツ

アーのように、5月の中旬から8月下旬まで全米各地でトーナメントを開催している）は、毎月曜日TV（ABC、CBSなどのメジャー局ではないが、全米に放映されているスポーツチャンネル）で観戦することもできるようになった。私は、サンタモニカのベニスビーチで男子を、ラグナビーチで女子のプロビーチバレーボールトーナメントを見学する機会に恵まれた。砂の上につくられた6人制のコートを1チーム2人のプレイヤーが、一般に行われているバレーボールとまったく同じようにプレーしていることに驚嘆した。なお、ビーチバレーボールは、次のバルセロナオリンピックの公開競技として実施され、国際バレーボール連盟（FIVB）もその普及に力を入れている種目である。



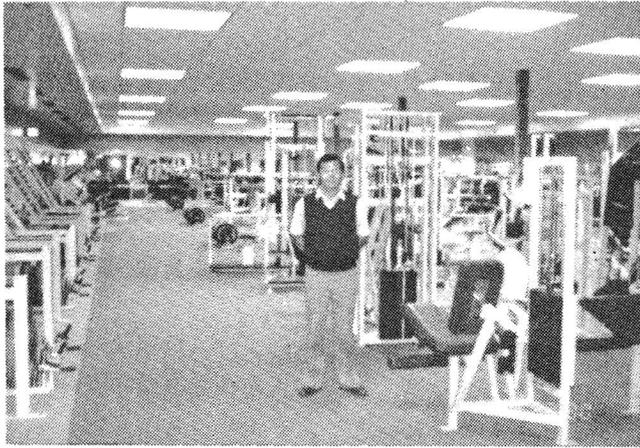
▲ サンサモニカでのプロビーチバレーボール



▲ UCIでのグラスバレーボールのトーナメント戦

私は研究のかたわら、FIVBの審判員の資格を有することもあり、UCIのバレーボールチームのアドバイザー兼アシスタントコーチとして、バレーボールの指導をしたり、試合に出かける機会に恵まれた。実際、指導に携わってみて、選手の潜在的な能力(体力)もさることながら、スポーツに対する取り組み方の相違を

強く感じた。特に、大学がNCAAに加盟を認めた種目については、大学が各チームの運営に関わる経費（日常の活動や試合の運営費、奨学金の枠や遠征に伴う費用、リクルート等に関わる経費）をサポートしている。もちろん、成績によりサポートの内容も変わってくるが、よくいわれていることであるけれども、NCAAという対外的なスポーツ活動については、大学が積極的に支援し、大学スポーツに対して大学人が責任を持ち、反面、大学経営の手段としているところもある。



▲ BYUのトレーニングセンターのトレーニングマシン

今年の6月、ユタ州のソルトレーク市とコロラド州のコロラドスプリングス市へ学会と資料収集のため出かけた。ソルトレーク市は、モルモン教の本拠地であることもあり、ロサンゼルス近郊から出かけた私には、非常にセフティーで美しい町の印象を与えた。モルモンは、アルコール、タバコはもちろんのこと、コーヒーや紅茶といった嗜好品をとることを禁止していることでよく知られている。学会終了後、ソルトレーク市から車で約40分の所にあるBYU（ブリガムヤング大学）に行く途中、フリーウェーで「ここはユタ、アルコール・タバコは麻薬と同類！」の看板を目にし、陽気で自由な南カリフォルニアとの違いを強く感じた。BYUは、プロボアのYマウントの麓にあり、モルモン教の布教のため世界各地に学生が出かけていることで有名である。また、フットボールやバスケットボールが全米一になるなど、大学スポーツのいろいろな種目が強いことでも有名である。訪れた目的は、元アメリカバレーボールチーム男子監督のカール・マクガウン教授に研究上の助言を受けることであった。カールは、現在、USVBA（全米バレーボール協会）のナショナルチームテクニカルアドバイザーを務めている。カールとは、バレーボールについてかなり突っ込んだ論議を交わすことができ、貴重な助言を得ることができた。アメリ

カの大学の体育館施設が充実していることは、よく知られているところであるが、BYUのトレーニングセンターの設備の充実には驚かされた。BYUをあとにして、オリンピックセンターを訪ねた。オリンピックセンターは、コロラド州デーパーから車で約1時間、コロラドスプリングス市にある。ロス・オリンピック大会を契機に建設された施設である。そこには、USOC（アメリカオリンピック委員会）や各種競技団体の事務局が置かれている。もちろん、アメリカバレーボール協会もある。USVBAのカーラー・ヌーバーガー女史の懇切丁寧な案内で施設を見学することができた。今日、わが国の競技力の弱体を取り沙汰されているけれども、オリンピックセンターを見学して、世界の経済大国といわれる日本の、スポーツ施設への投資の貧しさを強く感じた。JOCがリーダーシップをとり、中央施設の充実と競技団体や研究機関との組織的な連携を図ることが、いかに急務であるかを痛感した。



▲ USオリンピックセンター前にて

ユタの砂漠を越え、ロッキー山脈を越え、2泊3日の強行軍であったけれども、アメリカの雄大さを知るには十分な旅であった。

最後に、地球がますます狭くなり国際化が要求されている今日、10ヵ月という長期にわたって海外で勉強する機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。

レクリエーション

バドミントンの部で優勝!

平成2年度文部省共済組合富山地区共同事業体育大会

——ソフトボール，バドミントンに参加6機関が交流の汗——

残暑未だ厳しい去る9月2日(日)，本学共済組合が当番支部となり，平成2年度文部省共済組合富山地区共同事業体育大会が，本学グラウンド及び体育館を会場として開催されました。

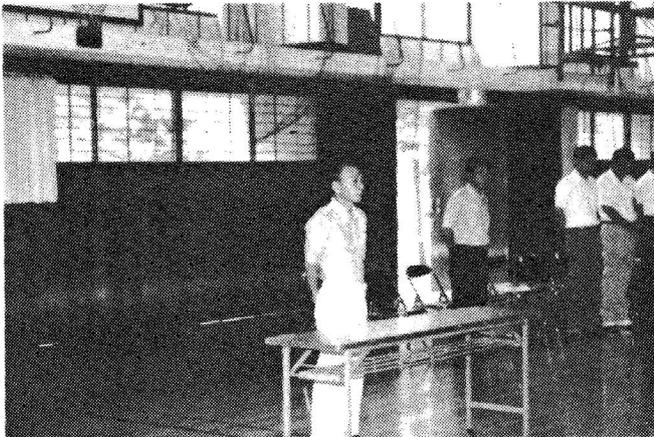
共済組合の共同事業体育大会は，昨年まで北陸三県の文部省関係機関が参加して，年1回の一大イベントとして開催されてきましたが，大会経費がかかりすぎる等の理由により，止むなく平成2年度から実施しないことに決定されました。しかし，富山県内だけでも継続して実施したいとの県内各機関の強い希望があり，第1回大会が本学当番で開催されたものです。

当日は，ソフトボール競技とバドミントン競技の2種目で競われ，炎天下のもと，持てる力を十分発揮して熱戦が繰り広げられました。

本学は，各種目に2チームずつ出場し，大いに健闘し，バドミントンの部で見事団体優勝を果しました。

また，富山県内の文部省関係6機関が一同に会した本大会は，競技もさることながら職員の健康増進と各機関との交流・親睦を図る絶好の機会となり，大変有意義な大会となりました。

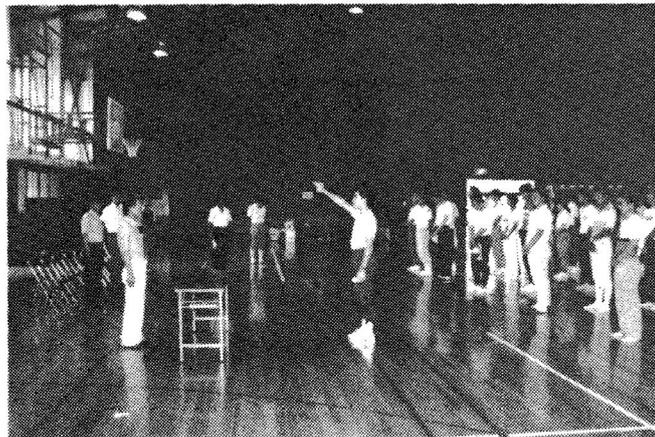
以下に大会成績の詳細等を紹介します。



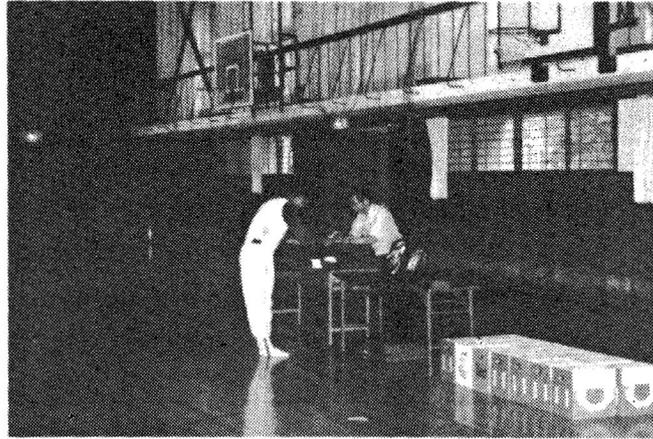
▲ 開会式で挨拶する大坪経理部長



▲ 開会式に勢揃いした各機関代表選手団



▲ 力強く選手宣誓する佐藤 修選手(富山大学)



▲ 閉会式で小川経理課長から優勝楯と賞品が授与される

〈平成2年度文部省共済組合富山地区共同事業体育大会競技結果〉

○ソフトボールの部

《予選リーグ戦》

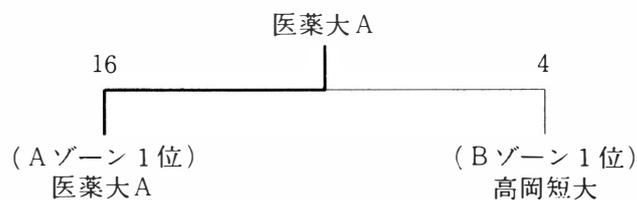
(Aゾーン)

	富山大A	医薬大A	富山商専	立山少年 自然の家	得失点	順位
富山大A			8 - 10	11 - 1	1勝1敗	2位
医薬大A			7 - 6	24 - 0	2勝	1位
富山商専	10 - 8	6 - 7			1勝1敗	2位
立山少年 自然の家	1 - 11	0 - 24			2敗	4位

(Bゾーン)

	富山大B	医薬大B	高岡短大	富山工専	得失点	順位
富山大B		9 - 5	4 - 12		1勝1敗	2位
医薬大B	5 - 9			16 - 19	2敗	4位
高岡短大	12 - 4			11 - 3	2勝	1位
富山工専		19 - 16	3 - 11		1勝1敗	2位

《決勝トーナメント戦》



○バドミントンの部

《予選リーグ戦》

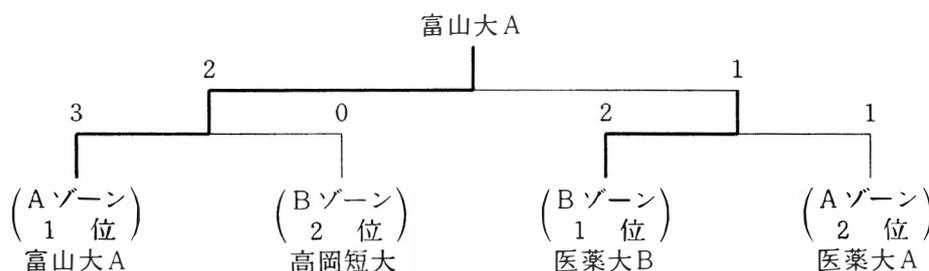
(Aゾーン)

	富山大A	医薬大A	富山工専	得失点	順位
富山大A		3 - 0	3 - 0	2勝	1位
医薬大A	0 - 3		3 - 0	1勝1敗	2位
富山工専	0 - 3	0 - 3		2敗	3位

(Bゾーン)

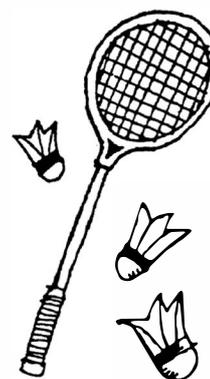
	富山大B	医薬大B	高岡短大	得失点	順位
富山大B		1 - 2	1 - 2	2敗	3位
医薬大B	2 - 1		3 - 0	2種	1位
高岡短大	2 - 1	0 - 3		1勝1敗	2位

《決勝リーグ戦》



※バドミントンの部で優勝した富山大学Aチームの出場選手は、次のとおりです。
選手の方々には大変御苦勞様でした。

- (主将) 福田 明 夫 (教 養 部)
- 野 尻 津喜夫 (学 生 部)
- 保 正 邦 久 (")
- 柴 田 利 治 (人文学部・理学部)
- 武 本 光 雄 (教 育 学 部)
- 佐 藤 裕 子 (経 済 学 部)
- 中 波 憲 子 (教 育 学 部)



平成2年度全国公務員レクリエーション共同行事 富山地区ソフトボール大会

去る8月22日(水)、平成2年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会が、猛暑炎天下のもと常願寺川公園野球場で開催されました。

本大会には、14機関17チームが参加し熱戦が繰り広げられ、本学から出場のA、B、Cの3チームともよく健闘し、決勝トーナメント戦を順調に勝ち進み、決勝戦は、奇くも本学AチームとBチームの対戦となり、優

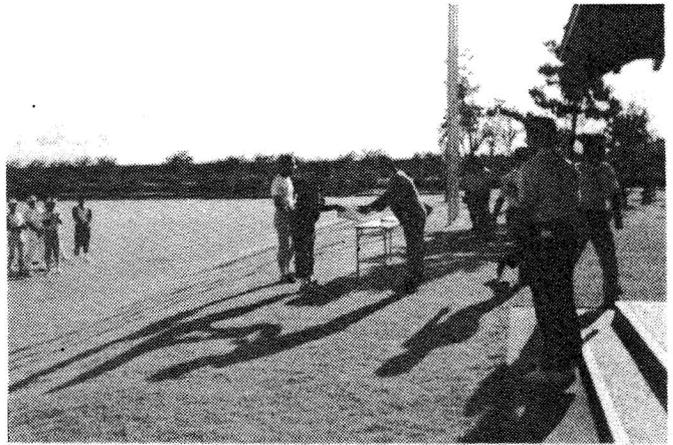
勝の栄冠は本学Aチームに輝きました。

なお、大会の成績は、次のとおりでした。

- (優勝) 富山大学Aチーム
- (次勝) 富山大学Bチーム
- (三位) 富山医科薬科大学Bチーム
- (〃) 富山刑務所チーム

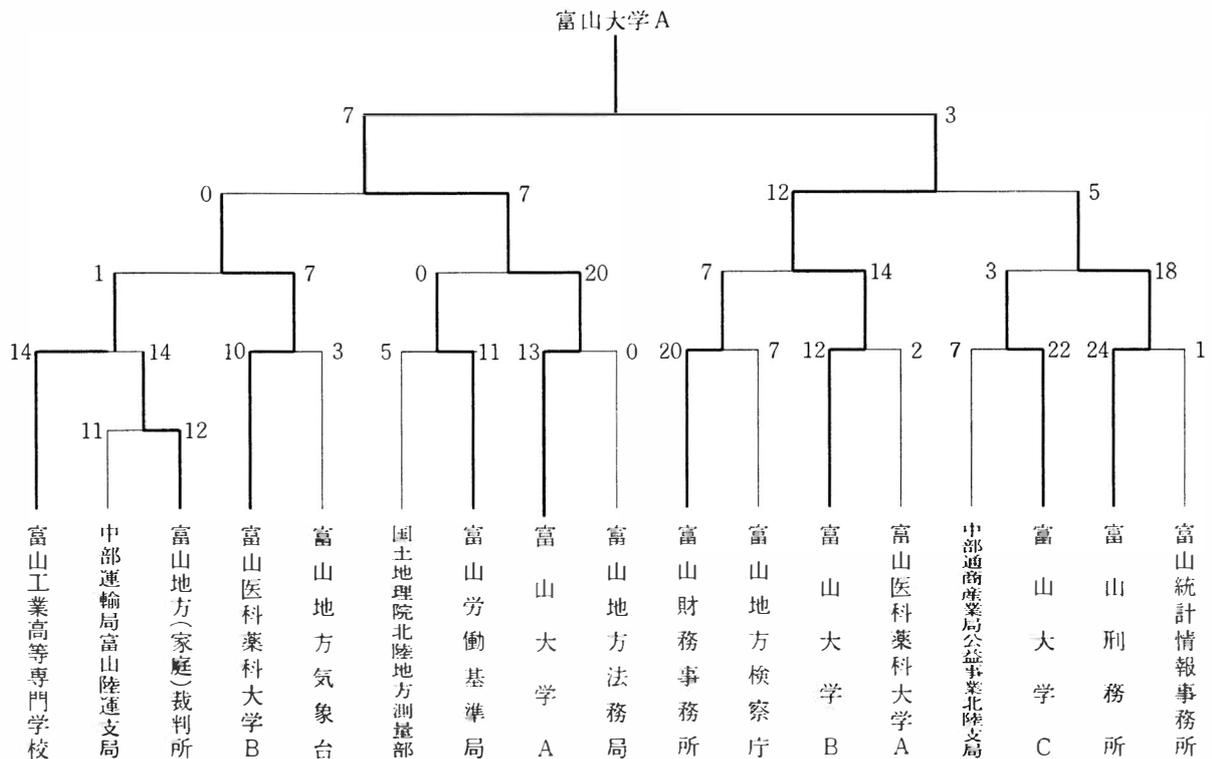


▲ 猛暑の中汗にまみれて奮戦する本学チーム



▲ 陽も傾き、戦い終えた本学Aチームに優勝の栄冠

(トーナメント戦勝敗表)



学内レクリエーション

<庭球大会>

本学レクリエーション委員会体育部会庭球班主催、文部省共済組合富山大学支部共催による、平成2年度学内硬式庭球大会が、去る9月8日(土)、本学軟式庭球場及び硬式庭球場において実施されました。

大会は、約80名の参加者を得て、男子10チーム(部局対抗の団体戦)及び女子6チーム(ダブルス)により行われ、成績は次のとおりでした。

○男子(団体戦)

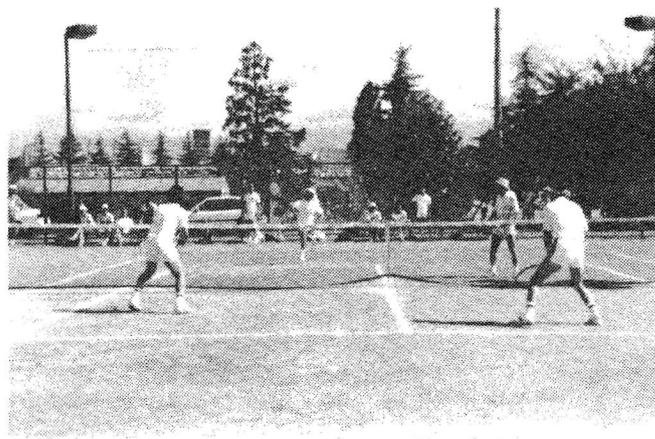
優勝 工学部Bチーム

次勝 経済学部・附属図書館Aチーム

○女子(ダブルス戦)

優勝 奥田(教育)・野村(図)ペア

次勝 三浦(人文)・森山(工)ペア



秋晴れの空の下、ボールを追う選手たち

<釣大会>

本学レクリエーション委員会娯楽部会釣班主催、文部省共済組合富山大学支部共催による、平成2年度学内釣大会が、去る9月22日(土)午後2時から、富山新港東防波堤において実施されました。

当日は、台風19号の余韻を残す緩やかな波に秋空が漂う絶好の釣日和で、15名の参加者は思い思いの仕掛を凝らし、対象魚であるキス、サヨリ、アジ等の魚信(あたり)に心をはせていました。

競技は、釣り上げた対象魚の総重量により入賞が決定され、成績は次のとおりでした。

(入賞者)

一位 竹下義美(学生部)

二位 森田憲治(経理部)

三位 御福 隆(工学部)

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	助教授	水内 俊雄	トルコ	西ドイツとトルコの都市問題に及ぼすトルコ人移民の社会地理学的研究の現地調査を行う	2. 8. 23 } 2. 9. 19
	"	"	檀上 寛	中華人民共和国	陽における 隋代の史跡調査及び明清研究者と意見交換	2. 8. 29 } 2. 11. 1
	工学部	教授	山口 信吉	連合王国 チェコスロバキア	第7回国際乾燥シンポジウムに出席及び「乾燥剤による穀類の糲」に関する研究調査	2. 8. 17 } 2. 9. 2
海外研修旅行	人文学部	教授	小谷 伸男	中華人民共和国	ユネスコ・シルクロード総合学術調査ウルムチセミナー出席及び歴史考古遺跡見学	2. 8. 15 } 2. 8. 31
	経済学部	"	和合 肇	スペイン フランス	第回 際計量経済学会世界大会出席・ 発表及び計量経済学に関する資料収集	2. 8. 21 } 2. 9. 4
	"	助教授	篠原 巖	ドイツ連邦共和国	西ドイツにおける憲法裁判、東ドイツにおける 統をめぐる憲法問題に関する資料収集	2. 8. 27 } 2. 9. 14
	理学部	教授	金坂 績	アメリカ合衆国	第12回ラマンスペクトルに関する国際会議に出席及び研究合せ	2. 8. 8 } 2. 8. 22
	"	助教授	金森 寛	ドイツ連邦共和国 ドイツ民主共和国 スイス、フランス	第28回配位化学国際会議に出席及び資料収集	2. 8. 10 } 2. 8. 27
	教養部	"	M.A.ムラジアン	アメリカ合衆国	英語及びフランス文学、特に詩と演劇に関する資料収集	2. 8. 2 } 2. 8. 31
	"	教授	森 克徳	連合王国	第19回低温物理学国際会議出席及び資料収集	2. 8. 14 } 2. 8. 28
	"	助教授	溝口 常俊	ベルギー	第10回国際社会経済史学会出席及び資料収集	2. 8. 20 } 2. 8. 29

職員消息

<新任者住所>

教育学部

文部事務官 波間 雄司
(教務主任)

<住所変更>

附属養護学校

教諭 松田 由美
(中学部)

経済学部

教授 滝川 敏明
(企業関係法)

— シリーズ —

郵便豆知識 ④

今回からは、国際郵便物の紹介に移ります。国際交流の進展に伴い、最近とみに外国の研究機関や研究者等との国際郵便のやりとりが増えていきます。

国際郵便物は、国内郵便と異なり、種々の規制があるほか、国によって取扱いが変わりますので十分注意し

てください。また、時代に即応したEMS（国際ビジネス郵便）、SAL小包郵便物、インテルポスト（国際電子郵便）の登場で、より安全でスピーディな、しかも割安な郵便が出せるようになっています。

以下順を追って説明します。

国際郵便

航空通常郵便物の料金 (Air Mail)

地 帯		第1地帯	第2地帯	第3地帯
種 類	名あて地	アジア	北米、 中央アメリカ、 オセアニア、 暹東	欧州、 アフリカ、 南米
	重 量			
書 状	10gまで	80円	100円	120円
	10gを超える10gまでごとに	60円増	70円増	100円増
郵便はがき	世界各国あて 70円均一			
印 刷 物 点字郵便物	20gまで	70円	80円	90円
	20gを超える20gまでごとに	30円増	40円増	50円増
特 別 郵 袋 印 刷 物	5kgまで	6,000円	8,000円	10,000円
	5kgを超える1kgまでごとに	1,200円増	1,600円増	2,000円増
小形包装物	80gまで	160円	200円	240円
	80gを超える20gまでごとに	30円増	40円増	50円増
航空書簡	世界各国あて 80円均一			

書状とは？

内国郵便物の第一種に該当するものです。特定の人にあてた現実的な性格を有する通信文を内容とするもの、簡単にいえば「手紙」に相当するものは、書状扱いと定められていますが、書状の内容となるものについて特に限定されていませんので、条約や郵便法で郵送を禁じられているもの以外ならばすべて「書状」として差し出すことができるといえます。

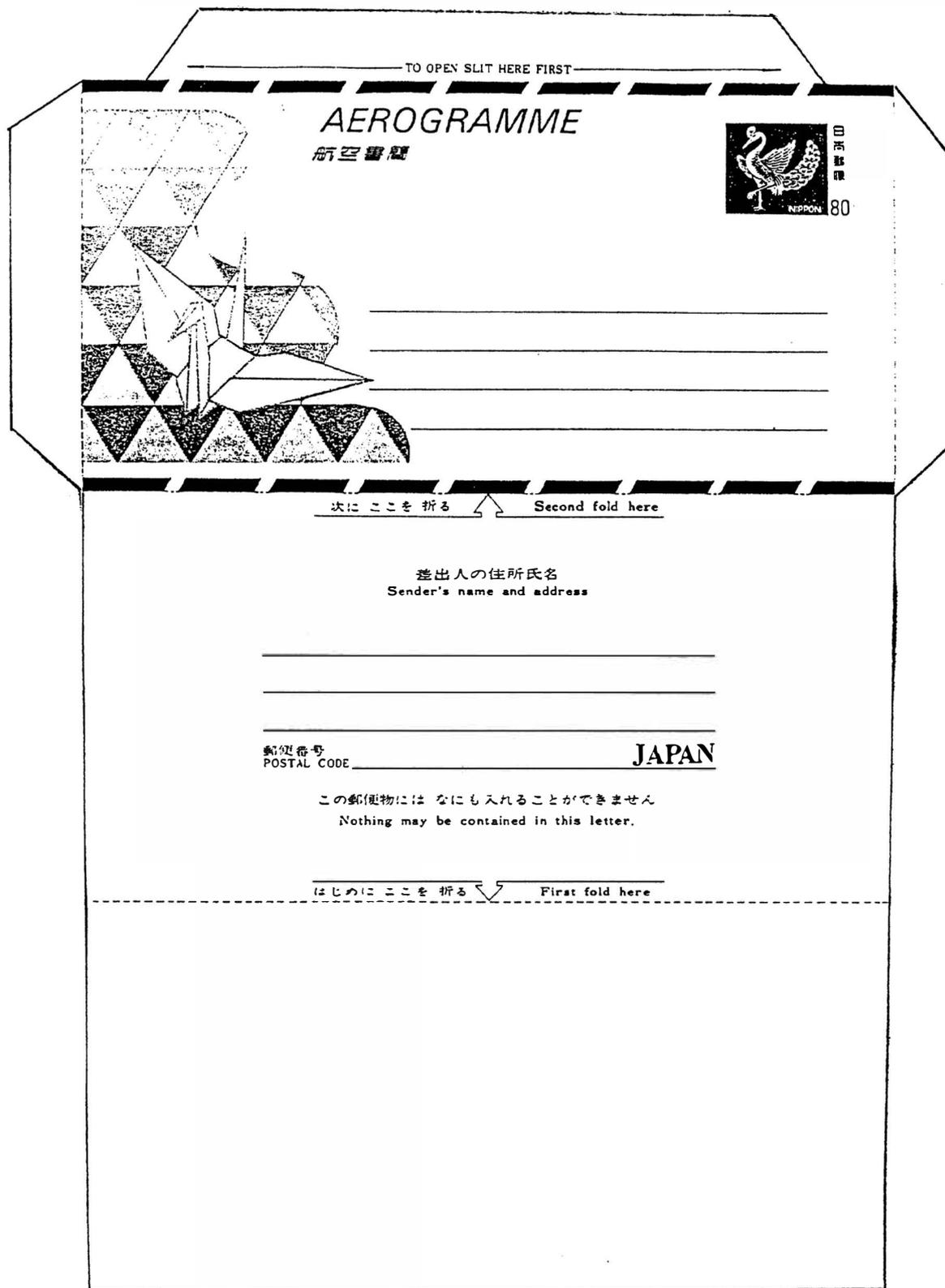
いいかえすと、「印刷物」として差し出せる書類、「小形包装物」として送れる物品でも「書状」の料金を納付して「書状」として差し出せるということです。

また、「書状」扱いとしますと、税関その他で内容確認のため開封される心配はありません。外国へあてた郵便物で唯一開封の恐れのないものは、「航空書簡」とこの「書状」のみです。ですから密封して差し支えありません。

航空書簡とは？

封筒を必要としない、一種の折りたたみ式の書状で、航空郵便物特有のものです。航空書簡は、世界均一の料金（80円）になっています。ただし、航空書簡には、他の物を内部に封入したり、名あてラベル以外のものを外部に添付したりすることができません。

私製の航空書簡も承認をうけて使用できます。



(注) 書簡の本文は、上の見本の三段目及び裏面の全面（糊しろ部分を除く。）に通信文が書けます。

郵便葉書とは？

内国郵便物の第二種に相当するものです。

突起や浮き彫りのない長方形の厚紙又は取扱いに支障のない十分な耐力のある紙であることが必要です。郵便葉書は、表面の少なくとも右半部分（横長）はあて名記載や、郵便切手、郵便業務用票符ちょう付のために残しておかなければなりません。（なお、往復葉書の制度はありません。）

私製葉書の場合には、表面の上部に「CARTE POSTALE」又は「POSTCARD」の表示が必要です。（絵葉書を除く。）

印刷物とは？

「印刷物」とは、条約上の規定を引用しますと「機械的又は写真的な方法で紙、厚紙又は一般に使用される他の物質に2部以上を複写した複写物」とされたもので、開封で差し出すことが必要です。

◎ 「印刷物」の扱いは、料金が割安となるため利用価値は十分あります。より詳細に説明します。

機械的又は写真的方法により紙・厚紙又は一般に印刷に使用される他の物質
2部以上複写したものをいう。

- 機械的又は写真的方法 = 活版・謄写版・リコピー・ゼロックス・デュプロ
その他これと同原理によるもの
- 一般に印刷に使用される他の物質 = a. ビニール紙などの化学合成紙
b. クリスマスカード } の場合の特例……布地（化学せんいを含む。）
カレンダー }

● 印刷したものではないが、特に印刷物の料金で差し出せるもの

- a. 学校の生徒間で交換される書状及び郵便葉書で、関係学校長の仲介によって差し出すもの
- b. 学校が生徒に送付する通信教育の教材及び添削しない又は添削した学生の日課物（課業に直接関係のない事項を記載したものを除く。）
- c. 著作物又は新聞紙の原稿
- d. 手書きした楽譜
- e. フォトコピー
- f. コンピューター印字機によるプリント

★ 印刷物とはならないもの

- a. タイプライター又はワープロで作成した書類（2部以上複写したものは印刷物となる。）
- b. 敷き写しで作成した写し、手書きした写し、タイプライターで作成した写し
- c. 印判で作成した複写物
- d. 用紙類で印刷した部分とその主要部をなさないもの
- e. フィルム及び録音し、又は録画した物
- f. せん孔した紙テープ及び情報を構成することがあるせん孔、線又は記号を有する情報処理装置用カード

○ 表 示……IMPRIME（又はPRINTED MATTER）

低料印刷物の場合（内国第3種及び学術刊行物）…… IMPRIMÉ À TAXE
RÉDUITE

（注）新聞、週刊誌の類をいう。

(又は PRINTED MATTER AT REDUCED RATE)

●表示位置……郵便物表面

点字郵便物とは？

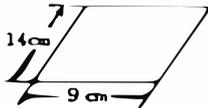
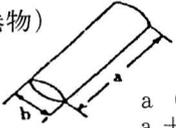
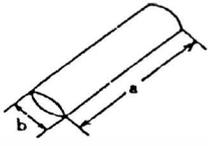
点字の書状及び点字の記号を有する原版を内容とする郵便物です。盲人専用の録音物や点字の用紙も公認の盲人協会から差し出される場合又はこれにあてる場合は、点字郵便物として取り扱われます。開封で差し出すことが必要です。「CECOGRAMMES」又は「LITERATURE FOR THE BLIND」の表示が必要です。

小形包装物とは？

「小形包装物」は、通常郵便物の取扱いによる小形の物品の運送を目的とする種類で、実質的には、小包郵便物に近いものです。しかし、重量制限（2kgまで、国によっては1kg又は500gまで）、郵便物表面への差出人住所・氏名の表示、業務上の票符など、取扱い上小包郵便物とは多少異なります。

一般的な物品のほか、商品見本、船積書類などの業務用書類、録音物（レコード、ソノシート、テープなど）、情報処理用のテープ、カードなどは、「小形包装物」として差し出すことができます。

通常郵便物の大きさ・重量の制限

種別	制 限		重 量
	最 大	最 小	
郵便葉書	長さ 14.8cm 幅 10.5cm	長さ 14cm 幅 9cm	—
(許容差はそれぞれ 2mm)			
(長さは、幅に1.4を乗じたもの以上です。)			
書 状	長さ+幅+厚さ=90cm (許容差は2mm) ただし、長さの最大は60cm (許容差は2mmです。)	長さ 14cm 幅 9cm	2kg
印刷物	 a (長さ) 60cm a + b + c = 90cm		(注1) 2kg 5kg(書籍冊子)
点字郵便物	巻物については 長さ+ 径の2倍=104cmまで (許容差2mm)。 ただし、長さの最大は90cm (許容差2mm)です。	巻物については 長さ+直径の2倍=17cm ただし、長さの最小は10cm です。	7kg
小形包装物	(巻物)  a (長さ) 90cm a + 2b = 104cm	 a (長さ) 10cm a + 2b = 17cm	(注2) 500g 1g 2kg

(注1) 印刷物の重量制限は、一般の印刷物については2kg、書籍及び冊子については5kgです。書籍とは、社会通念上の本(辞典なども含まれます。)のことであり、冊子とは、少量のとじた読み物のことで、普通の雑誌、パンフレットなどが含まれます。また、特別の郵袋により発送する印刷物(特別郵袋印刷物)の重量制限は30kgです。

(注2) 小形包装物の重量制限は1kgですが、国によっては、500グラムを超えるものを取り扱わないところがあり、また、1kgを超え2kgまでのものを取り扱うところもありますので注意してください。

※「あて名の書き方」、「包装の仕方」は、次号に掲載します。

主 要 行 事

本 部

- 8月1日 第1回事務電算化委員会
第2回学園ニュース編集委員会
- 6～9日 平成2年度富山県内国立学校等事務職員
(初任者)研修(於:富山大学)
- 10日 部課長会議
第5回事務協議会
地域留学生交流推進会議連絡協議会
(於:金沢大学)
- 22日 平成2年度全国公務員レクリエーション共
同行事富山地区ソフトボール大会
(於:常願寺川公園)
- 23日 平成3年度大学入学者選抜大学入試センタ
ー試験入試担当者連絡協議会(第1回)
(於:金沢郵便貯金会館)
- 23～24日 第23回東海・北陸・近畿地区経理系部長会
議(於:金沢大学)
- 27日 国立大学協会第1・第6常置委員会合同会
議(於:学士会館)
- 30日 大学院問題検討懇談会 (於:金沢大学)

人 文 学 部

- 8月21日 事務連絡会
28日 係長会議
31日 後学期授業時間割担当者会議
学部教務委員会

教 育 学 部

- 8月
2～3日 教員養成実地指導野外活動
(於:呉羽少年自然の家)
- 25～26日 呉山会レクリエーション(於:平湯温泉)
- 30日 附属小学校第2学期始業式

経 済 学 部

- 8月9日 係長会議
27日 経済学部長候補者選挙
教授会

理 学 部

- 8月
18～24日 大学院理学研究科(修士課程)入学願書受
付
21日 事務連絡会
28日 学部入試改善委員会
係長会議

工 学 部

- 8月1日 工学部安全委員会
学科主任会議
10日 工学部技官連絡会
17日 係長連絡会
22日 将来計画委員会
24日 第18回北陸三大学工学部スポーツ交歓会
(於:福井大学)
- 27日 工学部概要編集委員会
28日 博士課程設置準備委員会

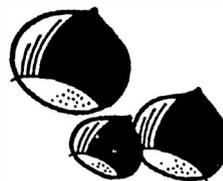
教 養 部

- 8月29日 教養部消防訓練
30日 内地・在外研究員に関する委員会
31日 予算委員会
将来計画委員会

附属図書館

8月1日 係長事務打合せ会

23日 図書館情報システム打合せ会



平成2年度教職員文化展作品募集

◆教職員文化展

日時 11月7日(水)～9日(金)

会場 学生会館2階

教職員並びに御家族の展示作品を募集しております。

申込みは、11月6日(火)までに下記役員へお願いします。

生花	……	経済学部	高畠	(内線2473)	
手芸	……	教養部	渡辺	(内線2576)	
書	……	教育学部	竹内	(内線2368)	
絵画	}	……	庶務部	朝野	(内線2272)
工芸					
彫刻	}	……	人文学部・理学部	永井	(内線2550)
写真					
盆景	……	経済学部	小嶋	(内線2565)	

< 作品搬入：11月7日(水) 午前10時展示会場まで >

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電 話 (24) 1755(代)